

6. 拠点施設整備計画

6-3

6-3 祇園橋緑地・祇園橋（北の回遊拠点）

駅周辺の環境イメージと都心部の歴史文化特性との融合をみせる空間

- ・東口駅前広場を中心とした東口の回遊空間における北の回遊拠点として祇園橋緑地の整備を行う。
- ・水辺の小径、祇園橋とあわせ、城下町の歴史と文化の都を感じさせるデザイン構成とし、駅周辺地区へのゲートゾーンを形成する。



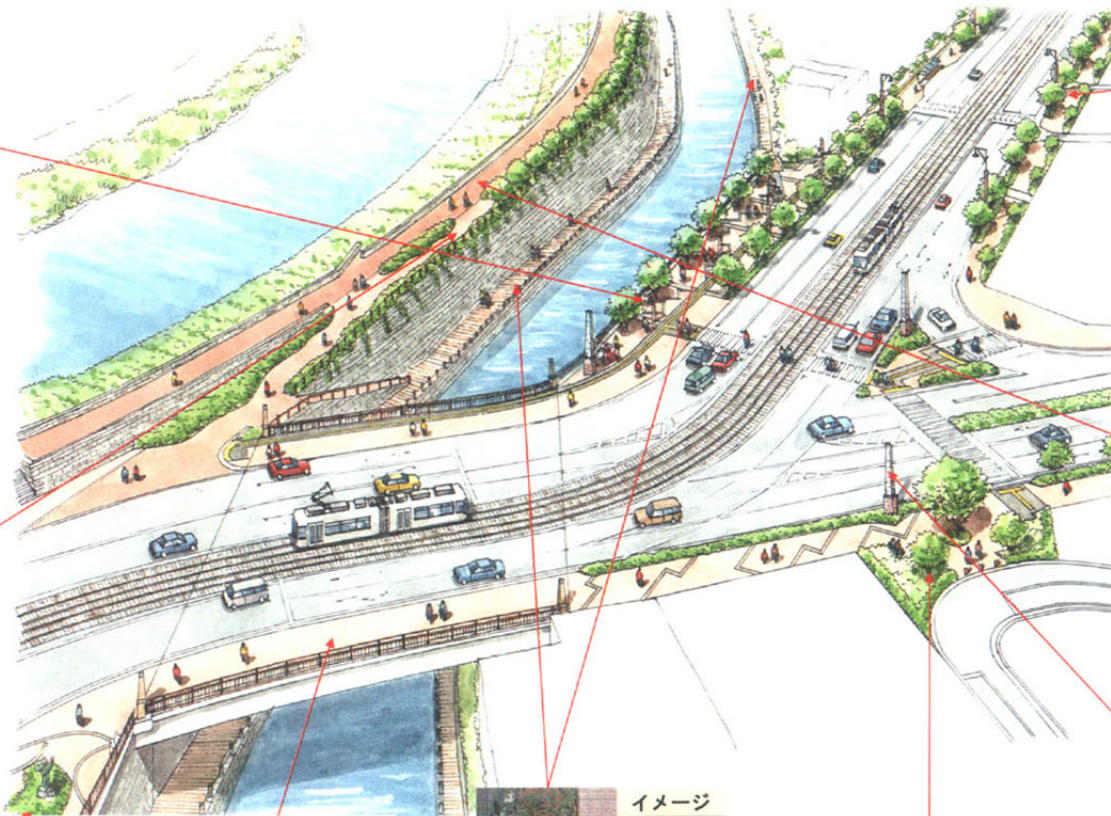
- 北の辻広場（祇園橋緑地）
- ・歴史を見せる空間
- ・道の広がりと共に、対岸からの見え方を長塀を配置してシンボリックに構成する空間
- ・春日橋や対岸の石塘を眺める場
- ・清々しい癒しの水辺として、軽やかに舞う葉形が水に映る柳の列植



- 新規の堤防上遊歩道
- ・車道を遊歩道に変換する道
- ・路傍の草花の生える、どこか懐かしい道
- ・直線ではない、けものみちのような柔らかな印象をもつ場



- おてもやん像
- ・肥後の国、特に駅周辺が発祥と言われるおてもやん像の設置



- 祇園橋
- ・改築後の祇園橋
- ・かつての親柱を再現



- 水辺の小径
- ・足元に心地良い、坪井川沿いのボードウォーク散策路



- 街角広場
- ・信号待ちの歩行者に木陰を提供する、シンボル樹の配置
- ・地域の目印となる空間

■熊本駅北部長



- 既存の白川堤防上遊歩道
- ・赤系・灰系・茶系のコンクリートブロック材によるリズムカルな幾何学文様



- 水、緑、空、自然の風景に馴染む施設
- ・緑の中に街のゲートを示唆する、オブジェの設置視認性に配慮して、広い交差点の3箇所に設置